

安全報告書



2014
伊勢鉄道株式会社

1 お客様はじめ地元の皆様へ

平素は伊勢鉄道をご利用頂くとともに、弊社の業務運営にご理解・ご支援を賜り、誠に有難う御座います。

2013年度は伊勢神宮の式年遷宮が執り行われ、たくさんの方が伊勢の地を訪れて頂きました。年度初、弊社におきましては、伊勢神宮式年遷宮本番に向けた輸送需要の増大に応えるべく、輸送力を充実させると同時に更なる安全輸送の確保という目標を掲げましたが、その目標につきましては無事に完遂することができました。

この年度目標達成への取組みにあたりましては、その基礎をなす「安全は鉄道会社にとって存続の基盤である」との社内風土の醸成に心血を注ぎ、弊社の安全管理体制の維持・強化に自らが積極的に関与してまいりました。

その結果として前述いたしましたように、2013年度は安全目標に掲げる事故や大規模な輸送障害の発生は無く、現在も無事故を継続しております。

今後とも、「伊勢鉄道が安全で安心できる鉄道」として多くのお客様にご利用頂けますよう、全社員が一丸となって事故防止に努めて参ります。

本報告書は、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態について自ら振り返るとともに、広くご理解頂くために2007年度から公表しているものです。

皆様からの忌憚のないご意見をお待ちしております。

伊勢鉄道株式会社

代表取締役社長 服部 桂吾

2 基本方針と安全目標

(1)基本方針

安全輸送の確保は経営の根幹であり、「安全基本方針」を次のように掲げ、社長以下全社員に周知・徹底しております。

- ①社員一丸となって、お客様の安全の確保を最優先に取り組む。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程を遵守し、厳正なる業務執行に徹する。
- ③確認の励行に徹し、疑わしい時は最も安全と思われる取扱いを行う。
- ④事故・災害等が発生した時は、列車防護、人命救助を最優先に行動し、情報連絡を確実に行う。
- ⑤常に問題意識をもち、必要な変革を行う。

(2)安全目標

当社は「安全基本方針」を受けた以下の「輸送安全目標」を定め、日々輸送の安全確保に取り組んでいます。

輸 送 安 全 目 標

1. 列車事故（衝突,脱線,火災）及びインシデントを発生させない。
2. 踏切障害事故を発生させない。
3. 人身障害事故を発生させない。



その結果、2013年度は「重大事故・インシデント」の発生はありませんでした。2014年度以降も以下の安全重点実施計画に取り組む中で、安全を大事にする社風を確固たる物とすべく、教育・訓練の充実等、全社員の安全意識の更なる向上に努めていきます。

(2014年度以降の安全重点実施計画)

項 目	内 容
列車の運転に係る事故防止	<ul style="list-style-type: none">・法令遵守及び基本動作の確実な励行・社内規程やマニュアル類の継続的な整備・安全関連設備の継続的な整備
教育・訓練の充実	<ul style="list-style-type: none">・鉄道従事員に相応しい人材の育成・知識や技能を円滑に継承するための勉強会や訓練会の実施・事故情報の収集及び共有化の取組
異常時への適切な対応	<ul style="list-style-type: none">・規程や異常時マニュアルの継続的な整備・異常時取扱い習熟度向上のための訓練会実施・異常時体制の継続的な整備と情報の共有化

3 事故等の発生状況と再発防止措置〈2013年度〉

(1) 鉄道運転事故(「鉄道事故等報告規則」に規定する事故)

鉄道運転事故の発生はありませんでした。
今後とも引き続き発生防止に全力で取り組んでまいります。

(2) 輸送障害(30分以上の遅延や運休)

- ・平成25年9月 3日 大雨の影響により運転休止
- ・平成25年9月16日 台風18号の影響により運転休止
- ・平成26年2月 7日 ポイント融雪器からの火災により35分遅延発生

(3) インシデント(鉄道運転事故が発生する恐れがあると認められる事態)

インシデントの発生はありませんでした。

(4) 行政指導等

国土交通省からの行政指導はありませんでした。

4 輸送の安全確保のための取組み

(1) 重点安全施策(安全関連投資)

2013年度は、マクラギ更换(鈴鹿川橋梁他373本)・分岐器部分更换(玉垣駅等3駅14箇所)、ATS-ST形地上子更新(河原田～河芸間53基)の安全設備関連工事、車両の全般検査(イセ104号:イセⅢ型1両)や軌道整備等、合計で約98百万円を投入し、安全・安定輸送設備の改良・保全工事は計画通り完了しています。



マクラギ更换工事



全般検査(イセ104号)



軌道整備



列車前頭巡回

2014年度につきましては、レール更換（957.4m）、マクラギ更換（590本）、架道橋落橋防止工事、列車無線基地局改修等の安全設備関連工事、車両の重要部検査や軌道整備等の保全関連工事を計画しており、今後とも安全の維持・向上に向けて各種設備の整備・改良に積極的に取り組んで参ります。

(2)人材教育

当社では、安全目標を確実に達成するための「重点実施計画」を定め、駅（運転指令業務）、機関区（運転士）、工務区等の関係部署が年間計画を策定し、毎月（乗務員・工務関係社員）及び四半期（駅関係社員）毎に訓練会・勉強会を開催して知識・技能の向上を図っています。



作業用車両取扱訓練会



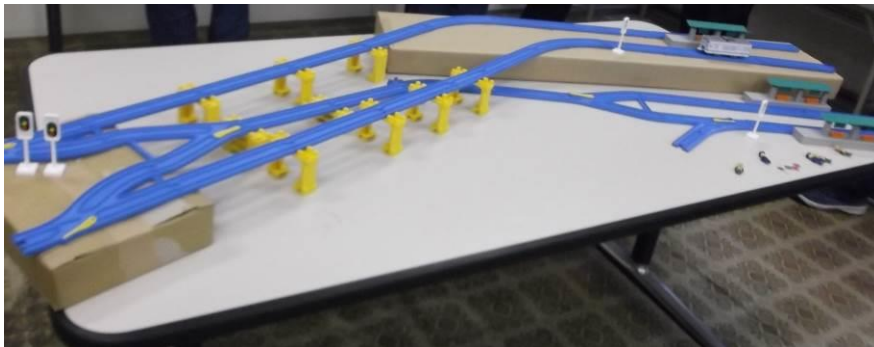
安全講習会

また、国土交通省や中部鉄道協会及び(社)日本鉄道運転協会・日本鉄道施設協会等の主催で開催される、安全管理や専門的な知識・技能の向上を目指す研修会等にも積極的に参加し、社員のスキル向上に努めています。



(3) 緊急時対応訓練

毎年1回、JR東海と合同で、運転事故や災害等の異常時を想定した訓練を実施しています。



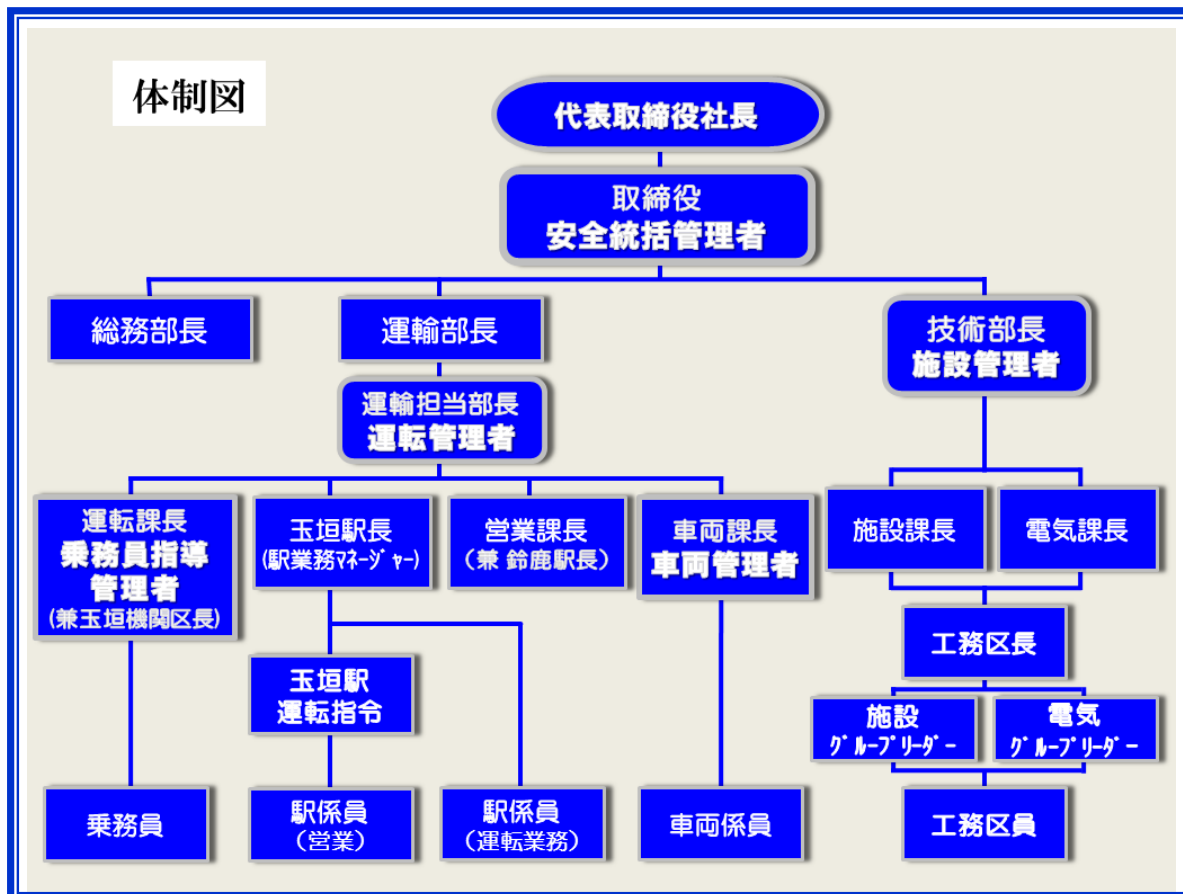
河原田駅構内をプラレールで再現



2013年度は伊勢鉄道から6名が参加し、プラレールを活用した模擬訓練を実施しました。河原田駅構内の電気転てつ器が故障したため、伊勢鉄道線からの上り本線出発信号機が現示不能(進行を指示する信号が出ない)となったことを想定。伊勢鉄道指令とJR東海指令及び現場の係員の役割分担を行い、異常時チェック表、作業指示票など実際に使用するリストを確実に活用する中、各担当者間の連絡、指令間(会社間)相互の情報連絡方等の訓練を実施し、異常時対応能力の向上を図りました。

5 当社の安全管理体制

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしております。また、毎月一回、安全対策会議を開催し「事故の芽を摘む」意識で、過去事例の検証や、「事故のたね」である「ヒヤっとした・ハッとした」出来事の記録を活用し、現状の問題点の抽出・改善策等を話し合い、安全度の更なる向上に努めています。



役職・役割

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
車両管理者	運転管理者の指揮の下、車両に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。

6 お客様や地元の皆様との連携とお願い

(1)お客様からのご意見

より安全で信頼される鉄道をつくるため、当社ホームページへのメールや電話等によりお寄せ頂いたご意見を役立てております。お気軽に下記連絡先までご意見をお寄せ下さい。

(2)沿線にお住まいの皆様へ

安全な列車運行を行うためには鉄道施設の工事が必要です。

極力、ご迷惑をおかけしないよう努めておりますが、工事による騒音や振動でご不便をおかけすることもあるかと思っております。何卒、ご理解とご協力をお願い致します。

(3)列車妨害防止のお願い

2013年度は、置石や線路内への自転車放置といった列車妨害の発生はありませんでした。

列車妨害の発生件数は年々、減少しつつありますが、高速列車が走行する線路敷地内への立ち入り・いたずらは、列車との触車死亡事故や列車脱線事故にも直結する非常に危険な行為ですので、線路付近で遊んでいる児童等を見かけられましたら、線路内へは決して立ち入らないよう、引き続き注意・指導をお願い致します。



交通安全啓発活動

7 ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せ下さい。

伊勢鉄道株式会社

TEL 059 - 383 - 2112
(FAX も同番号)

E-mail: anzen@isetetu.co.jp